

物流現場の技術革新・DXを加速する実証実験拠点の取り組みを紹介

## ドイツ連邦デジタル・交通省 政務次官が技研 IC を視察

2024年1月25日（木）、ドイツ連邦デジタル・交通省の<sup>オリバー ルクシッチ</sup>Oliver Luksic政務次官が、鴻池運輸株式会社（本社：大阪市中央区、代表取締役会長兼社長執行役員 鴻池 忠彦、以下 鴻池運輸）の鴻池技術研究所イノベーションセンター（以下 技研 IC）<sup>※1</sup>を視察されました。

※1 関連報道発表 2021年3月3日 <https://www.konoike.net/news/detail/20230928143648.html>

これは、鴻池運輸がインダストリー4.0時代のKONOIKEグループ変革に向けて、インダストリー4.0の先進国であるドイツで研究・取り組みを進める中、ドイツ連邦デジタル・交通省より、日本の技術革新・DXに取り組む物流企業やドイツ企業と協働している企業との面談のご要望を受けて実現したものです。

技研 IC は、2021年3月に東京レールゲート WEST 棟内の当社物流拠点内の一角に開設した、最新自動化機器の開発・導入実験や、国内外のスタートアップ技術の実証実験など、物流現場における技術革新・DXを加速させるためのオープンイノベーション拠点です。

視察当日は、代表取締役会長兼社長執行役員 鴻池 忠彦および取締役専務執行役員 鴻池 忠嗣が、最新技術と現場で培われてきた職人の技術との掛け合わせによる独自の技術革新・DXの考え方や技術革新・DXを推進する意義の説明に加え、物流・請負の現場で培った3PL・3PPの現場力に新技術を活用したコンサルティング機能を加えた4PL・4PP（4th Party Logistics・4th Party Production）の確立を目指す将来構想を説明しました。

Oliver Luksic 政務次官は、物流現場への自動化機器の導入など、ドイツにおいても取り組まなければならない課題が共通している点を挙げ、技研 IC のメンバーとも活発な意見交換が行われました。

### ■視察の様子



■ 関係者集合写真



■ 鴻池運輸株式会社の概要 (<https://www.konoike.net/>)

KONOIKE グループは、物流の枠を超え、製造、医療、空港業務などを通じ、社会課題の解決と革新に挑戦し続ける、プロフェッショナルサービス集団です。

|      |  |      |                             |
|------|--|------|-----------------------------|
| 商号   | 鴻池運輸株式会社<br>※東証プライム市場  | 代表者  | 代表取締役会長兼社長執行役員<br>鴻池 忠彦     |
| 大阪本社 | 大阪市中央区伏見町 4-3-9  | 東京本社 | 東京都中央区銀座6-10-1              |
| 創業   | 1880 (明治 13) 年 5 月   | 会社設立 | 1945 (昭和20) 年5月30日          |
| 資本金  | 1,723百万円   | 従業員数 | 約24,000名 (連結)<br>※臨時雇用者数を含む |
| 売上高  | 311,840百万円 (連結)  | 営業利益 | 13,243百万円 (連結)              |
| 事業内容 | 鉄鋼事業、エンジニアリング事業、食品関連/定温物流事業、食品プロダクツ関連事業、生活関連事業、メディカル事業、空港事業、国際物流事業、インド事業 |      |                             |

※資本金、従業員数、売上高、営業利益：2023年3月31日現在。

●本ニュースリリースに記載されている会社名および製品・サービス名は、各社の登録商標または商標です。

(報道関係者様お問い合わせ先) 広報室 古屋、<sup>じくはら</sup>竺原 tel:03-3575-5753